★☆★令和4年度（2022年） おはなし劇場 記録 ★☆★

2022年度　1年1組のこどもたちが出会ったお話のリスト

日付	書名	作品		出版社/所要時間	感想
6/16	①チーターじまんのてんてんは ②かがくのお話1年生 「うさぎの耳はなぜながいの？」	作	①みやけゆま ②大山光晴	①BL出版 ②Gakken 各5分	チーターが大好きな息子がぜひ読んで欲しいとリクエストがあったので選びました。チーターのてんてんが飛んで行ってしまいどうなるんだろうと言うワクワクを感じて欲しいと思いました。②のウサギの話しは、少し難しいかとも思いましたが、みの森で飼育しているウサギの事をもっと知って優しく接してくれるといいなと思い選びました。
		文			
		画			
		訳			
7/14	れいぞうこのなつやすみ	作	村上しいこ	PHP研究所 全3章内、 1~2章(10分)	暑い夏、「れいぞう子」も夏休みがとりたい！と訴えるところから始まります♪。関西弁の軽快なリズムで流れていく話で、所々、笑いも取れながら楽しい読み聞かせでした。最後は、れいぞう子と男の子に友情が芽生えるのですが、時間に限りがあったので、「続きは図書館などで探して読んでみてね！」としました。先生も関連書籍「ワガママおやすみシリーズ」の本を学級の書籍スペースから取り出して、みんなに見せてくださり、読書の楽しみの広がりも出していただけたなと感じました。たくさんの子供達から「楽しかった！」の感想をもらえ、元気をもらえました。
		絵	長谷川義史		
		文			
		画			
		訳			
9/22	おしたらおしまい	作	永田浩一	発行.森のえほん館 発売ポプラ社 5分	一年生にもiPadが渡されて触れる機会が多くなりました。ご家庭でもタブレットでゲームをしたりYouTubeを見る機会も増えてくる時期かと思い、楽しく正しく使って貰えたらとこの本を選びました。子どもたちも興味深く聞いてくれたので良かったです。
		絵	初耳寧		
		文			
		画			
		訳			
10/27	ぼくのジィちゃん	作	くすのきしげのり	佼成出版社 7分	運動会が終わったばかりで、力を出し切れた子も、思うようにいかなくて悔しい思いをした子も、がんばったことが次のチカラになっていると思って欲しくて、この本を選びました。最初にそんな話をしてから読みました。終わった後、ジィちゃんがすごくてびっくりした！などと、感想をたくさんお話ししてくれて、とてもよかったです。
		絵	吉田尚令		
		文			
		画			
		訳			
11/24	①てぶくろ ②まいにちがプレゼント	作	①ウクライナ民話 ②いもとようこ	①福音館書店 ②金の星社 ①5分②3分	秋冬の季節感のある絵本ということでこちらの2冊を選びました。①の「てぶくろ」は読んだことのある子も多く、表紙を見るだけで「知ってる一！」「知らない一！」と始まる前から大騒ぎでしたが読み始めると集中して聞いてくれました。②は短い文章ではあるものの過去や未来ではなく今日を大切にしようという心の持ち方についての内容で少し難しいかな？と思って心配でしたが「今日はプレゼントだって嬉しい！」というような感想もあって明るい雰囲気になったのが良かったです。
		絵	①エウゲーニーMラチョフ ②いもとようこ		
		文			
12/22	WHOSE BUM? AT CHRISTMAS	作	Heath McKenzi	LAKE PRESS	クリスマスを楽しみにしている子供達にクリスマスに登場する仲間を覚えてもらう為にこちらの本にしました。クリスマスの準備をしている仲間たちのお尻が見え誰か当てる本です。本を読む前に手づくりした登場人物の名前を英語で教えて、本を読みながら誰のお尻かみんなに当ててもらいました。一年生のパワー、想像力とても刺激的でした。
		絵			
		文			
		画			
		訳			
1/19	雪の上のなぞのあしあと	作	あべ弘士	福音館書店 7分	多摩動物園に行ってきた一年生に、冬の夜の動物園が舞台の、この絵本を選びました。夜の動物園で、どんなかんじでしょう？そして、事件が起こります。飼育がかりのおじさんは、動物たちを守ることができるでしょうか？そして、犯人の正体は？　このミステリーの謎を、みなさん考えながら聞いてくださいね、と言って読み始めたら、終わった後、「かいじゅうだと思った！」とか、「あしあとだと思ったら、はらあとで驚いた！」とか、たくさん感想をもらいました。ミステリーのカギとなるのが雪なのですが、来週雪の予報。「雪ふるといいですね！」という先生の言葉に、ワクワクした雰囲気で終わりました。
		絵			
		文			
		画			
		訳			
2/16	999ひきのきょうだいのはるですよ	作	木村研	ひさかたチャイルド 7分半	やっと三寒四温が始まり出した今日この頃にしては、少し早いかな？とも思いましたが、春を待ち望む意味で選書しました。カエルの親子の「999ひきシリーズ」です。様々な生き物がこの時期、冬眠から目を覚ますのだという季節感、「さぁ！これから動き出すぞ！」と言うワクワク感も伝えられたらと思いました。途中、笑いも起きて、読んでいるこちらも楽しい時間が過ごせました。読んだ後の感想も沢山発言してもらえて、もうすぐ二年生の子供達の成長ぶりを間近に感じられる大変幸せな時間でした。
		絵	村上康成		
		文			
		画			
		訳			

★☆★令和4年度（2022年） おはなし劇場 記録 ★☆★

2022年度　1年2組のこどもたちが出会ったお話のリスト

日付	書名	作品		出版社/所要時間	感想
6/16	トラのバターのパンケーキ	作	ヘレン・バンナーマン	評論社	一時期絶版になっていた「ちびくろ・さんぼ」がベースのお話です。主人公の名前は『ババジ』に変わっており、ユーモアのセンスで虎たちに食べられそうになるピンチを切り抜けます。結末は原作と同じ。子供たちが楽しんでくれる本を、と思い選びました。
		絵	フレッド・マルチェリーノ		
		文			
		画		10分	
		訳	せな　あいこ		
7/14	①はるちゃんのすいか ②せかいいちのぼうし	作	①白鳥悠	①新風舎 ②岩崎書店	夏代表の果物といえばスイカということでこの絵本を選びました。昔からスイカの種を食べるとお腹からスイカは生えると言われていたことを思い出しました。子どもたちは本当にスイカが生えてきた時は驚いていた様子。中には、おへそからスイカが生えるのは当たり前じゃんという子もいたり、とてもこの絵本を楽しんでくれたようでした。もう一冊は変わった帽子が登場するので、自分だったらこんな帽子がいいなと教えてくれました。短い時間でしたが、1年生と素敵な時間を過ごせました。
			②深見春夫		
		絵	①吉田晴美		
			②深見春夫	①5分/②5分	
		訳			
9/22	①ふしぎなナイフ ②くだものなんだ（柿のところ） ③ざぼんじいさんのかきのき	作	①中村牧江・林健造	①②福音館書店 ③岩崎書店	もうすぐ秋なので、柿の絵本にしました。①の本は面白いので、読みたかったため。そして、②ナイフで切った断面図の本に繋げて、③柿のお話。②の本は、一部しか読んでないので、教室に預けて休み時間に読んでもらうようにしました。③の本の途中でチャイムが鳴ってしまい、欲張りすぎました。子どもの様子を見るほどの余裕はありませんでしたが、楽しんでくれていたらいいなと思います。
			②きうちかつ		
			③すとうあさえ		
		絵	①福田隆義、②きうちかつ	①2分、②1分 ③7～8分	
			③織茂恭子		
10/27	こどもかいぎ	作	北村裕花	フレーベル館	子どもだけの会議の議題は、“怒られたときはどうしたらいいか”。お題が出たところで「はい！」とクラスの子たちが手をあげてくれました。なので、絵本を読み終わったあとに何人かに発表をしてもらいました。みんなの意見が、絵本の中の子どもたちに負けず劣らずかわいらしかったです。最後に、絵本の中の解決策を試してみて欲しいと話して終わりました。
		絵	北村裕花		
		文			
		画		5分	
		訳			
11/24	①「とってもいいなわ」 おひさまはらっぱ ②へんしんクイズ	作	①中川李枝子	①福音館 ②金の星社	①は絵がとても少ないお話のため、好き嫌いが分かれるかな？と思いましたが、笑い声が上がったり、結末に「えっ！」と驚く声があがったりと集中してお話の世界に入って聞いてくれました。②は息子の強い希望で読みましたが、やはり読んだことがある人が多く、「答えはないしょね」と前置きしても、予想通りあちこちから答えを叫ぶ声が聞こえ、とても賑やかなおはなし劇場になりました。朝から元気な1-2のみなさんにパワーをもらえました。
			②あきやまただし		
		絵	①山脇百合子		
			②あきやまただし	①6分　②4分	
		訳			
12/22	小うさぎましろのお話	作		ポプラ社	クリスマスが題材になっていますが、楽しいばかりの内容ではないこのお話、小うさぎましろがどうなっていくのかを真剣な様子で聞いてくれていました。時間が足りず、後半は飛ばし飛ばし読むことになってしまったのが残念でした。
		絵	三好碩也		
		文	佐々木たづ		
		画		13分	
		訳			
1/19	びゅんびゅんごまがまわったら	作	宮川ひろ	童心社	びゅんびゅんごまを持って、読み聞かせに行きました。長いお話で、時間内に読むのに早口になってしまいましたが、個人的に好きな絵本だったので、紹介できてよかったです。
		絵	林明子		
		文			
		画		10分	
		訳			
2/16	おじいちゃんが おばけになったわけ	作		あすなろ書房	題名を聞いた時の子供たちの反応が、「そんなわけないでしょう～」でとても可愛かったです。少ししんみりするお話のせいか、みんな静かに最後まで聞いてくれました。一年生の最後ということもあってか、入学してからの成長も一緒に感じられた気がして、嬉しかったです。
		絵	エヴァ・エリクソン		
		文	キム・フォップス・		
			オーカソン	10分	
		訳	菱木晃子		

★☆★令和4年度（2022年） おはなし劇場 記録 ★☆★

2022年度　2年1組のこどもたちが出会ったお話の

日付	書名	作品		出版社/所要時間	感想
6/16	①ぼくのかえりみち ②あかにんじゃ	作	①ひがしちから ②穂村弘	①BL出版 ②岩崎書店	①道路の白い線だけを通って家に帰ることを決意したそらくんのお話。『同じことやったことある』という共感を得られ子供目線で楽しめるお話だと思って選びました。子供達は主人公と大冒険をしているように「どうなるの～」と物語の世界に入り込んで楽しんでくれました。 ②赤忍者は真っ赤な忍者。お城に忍び込みますが、真っ赤なゆえに目立ってすぐに見つかってしまいます。変身上手な忍者が色んなものに化けて危機を脱出していくお話。『まっかなおじさん』に変身したときはクスクスと笑いがおきました。 少し余った時間で先生が感想を聞き、どこの部分が面白かったと、各々が感じたことを発表してくれて、読み手としてもとてもうれしかったです。
		絵	①ひがしちから ②木内達朗	①4分②4分	
		訳			
7/14	①りゆうがあります ②ねぐせのしくみ	作	①②ヨシタケシンスケ	①PHP研究所 ②ブロンズ新社	この夏にヨシタケシンスケさんの展覧会が開催されるので絵本から展覧会というものにも興味を持ってもらえたらいいなと思い選びました。①お行儀の悪いことが、子ども目線で面白おかしく書かれているので、お行儀について考えるきっかけになればいいなと思いました。②何で寝グセがついてしまうのか、寝ている間にどんなことが起こっているのか、絵と擬音語が中心の本なので、想像力を膨らませてお話の世界を楽しんでもらえたらいいなと思いました。おかしなことが起こるたびにどっと笑いが起き、なんだこれーとか、そうなの？？と言ってくれる子がいて教室は盛り上がっていたので、とても楽しい会になりました。
		絵			
		文			
		画		①6分②4分	
		訳			
9/22	わすれんぼうのはりねずみ	作	竹下文子	あかね書房	普段の子供達とは違う表情やしぐさが垣間見れてとても楽しかったです。初見で本を読み進めていったので、子供と同じようにストーリーの展開に驚き、笑いながら読んで行きました。絵本の隅々まで子供達は観察しており、物語と並行したイラストへの指摘、感想など真っ直ぐな声を聞くことができ、終始和やかな雰囲気で進むことができました。
		絵	ミヤハラヨウコ		
		文			
		画		6分	
		訳			
10/27	①うみにしずんだおに ②蜘蛛の糸	作	脚本　松谷　みよ子		①おにの中にも人間のために行動を起こしてくれるおにがいることから、見た目や偏見で判断せず、多様性みたいなものを感じてくれたらと思い選びましたが、子供に感想をきいたところ「良くわからなかった」そうです。本のチョイス難しいですね。
		絵			
		文			
		画		①8分②2分	
		訳			
11/24	さくらいろのりゅう	作	町田尚子	アリス館	絵の色彩が綺麗で、かつインパクトがあり、読んでみるとストーリーも引き込まれるものがあり、また和風な感じを探していたこともあって、読み聞かせにはいいかなと思い選びました。子供たちの中には、スクリーンを見ながらだとは思いますが、意外にも読み手(私)のほうをじっと見ながら聞いている子供たちが多くいたのが驚きでした。
		絵			
		文			
		画		8分	
		訳			
12/22	サンタおじさんのいねむり	作	ルイーズ＝ファチオ	偕成社	12月ということもありクリスマスの内容の本を選びました。優しい奥さんと、庶民的なサンタおじさん、可愛い動物たちが登場し、はらはらドキドキしつつも最後は心温まるストーリーと、可愛らしい絵に惹かれ、こちらを選びました。子供たちは終始とても真剣に聞いてくれたので嬉しかったです。
		絵	柿本幸造		
		文	前田三恵子		
		画		10分	
		訳			
1/19	開運えほん	作	かんべあやこ	あかね書房	お正月の過ごし方や、お飾りを飾る意味、ひとつひとつのお節料理にも意味がある事を楽しく知ることができる本です。うぶすな様に初詣に行き1年の無事を祈りご挨拶をする。お正月に何気なくお家でやっていた事を改めて知ることができると思い選びました。内容が盛りだくさんだったので、少し急ぎ気味で読みましたが、子供たちは静かに聞いていてくれました。少しでも記憶に留めていてくれたら嬉しいです。
		絵			
		文			
		画		10分	
		訳			
2/16	みんなからみえないブライアン	作	トルーディ・ラドウィッグ	くもん出版	集団生活の中で、多かれ少なかれ誰もが経験する子供たちの身近な問題を温かく描いた絵本です。2年生にとっては、もうすぐ初めてのクラス替えがあります。クラスには様々な子供がいるけど、みんな仲間であることに改めて気づいてくれたらいいなと思い選びました。真剣に聞いてくれていたので、心に響いてくれていたらいいなと思います。
		絵	パトリス・バートン		
		文			
		画		8分	
		訳	さくまゆみこ		

★☆★令和4年度（2022年） おはなし劇場 記録 ★☆★

2022年度　2年2組のこどもたちが出会ったお話のリスト

日付	書名	作品		出版社/所要時間	感想
6/16	かわいそうなぞう	作		金の星社	今ロシアとウクライナの戦争下なので、このお話は過去の日本の戦争の時に起こった話を元にしたお話なので選びました。多くの子が読んだことのあるお話でしたが、とっても集中して聞いてくれていました。
		絵	たけべ　もといちろう		
		文	つちや　ゆきお		
		画		10分	
		訳			
7/14	どろぼうがっこう	作		偕成社	子どものリクエストだったので、読む前に知られていましたが、「どろぼうがっこう好き」という子が数人いたので良かったです。 集中して聞いてくれました。
		絵	かこさとし		
		文	かこさとし		
		画		10分	
		訳			
9/22	①フレデリック ②たべものやさんしりとりたいかいかいさいします	作	①レオレオニ ②シゲタサヤカ	①好学社　②白泉社	夏に授業でやったスイミーと同じ作者のものを選んでみました。少し抽象的なお話なのでもう一冊は楽しく読めるものにしました。しりとり大会でギョウザが優勝した場面では自然と拍手がわいていてかわいかったです。静かに集中して楽しんでくれやりがいがあります
		文			
		画		10分	
		訳			
10/27	①おちゃのじかんにきたとら ②ホットケーキできあがり！	作	①ジュディスカー	①童話館出版　②偕成社	子供リクエストで選びました。絵が多く色彩も鮮やかで、見ていて楽しくなるような本だと思いました。とらが家中の全ての食べ物を食べてしまうお話の中でお父さんのビールも全部食べてしまったところで笑っていました。
		絵	②エリックカール		
		文			
		訳	①晴海耕平 ②アーサービナード	10分	
11/24	みずとはなんじゃ	作	かこさとし	小峰書店	簡単すぎず、また難しすぎない本を選びました。開始時間が少し遅れたため、時間内に読み終えようと、途中から少し早口になってしまったことが反省点です。途中で子供たちが小さな声で「へー」や「おおー」と言ってくれたので、きちんと聞いてくれているのだなとうれしくなりました。
		絵	鈴木まもる		
		文			
		画		10分	
		訳			
12/22	ロバのシルベスターと まほうの小石	作	ウィリアム・スタイグ	評論社	何でも願いを叶えてくれる赤い小石を拾ったロバのシルベスターがうっかり石に姿を変えてしまったことから起こる出来事が描かれています。最後は元の姿に戻ってハッピーで終わるのですが、どうやって元の姿に戻るのだろう？どうやったらお父さんお母さんに会えるのだろう？とハラハラしながら聞いてくれていたと思います。本当に大切なものって何だろう？とか、お父さんお母さんもシルベスターもお互いを思い合ってるんだとか、何か心に残るものがあれば嬉しいです。
		絵			
		文			
		画		10分	
		訳	せたていじ		
1/19	まめまきバス	作	藤本ともひこ	鈴木出版	再来週が節分だったので、節分にちなんだ本を選びました。怪獣鬼のせきで、町のみんなが鬼になり、さらに合体して大きくなった怪獣鬼を、バスとみんなの力を合わせて豆をまいて、元に戻すというお話です。みんな真剣にお話を聞いてくれて、笑ってくれたり拍手をしてくれたりしました。緊張して練習時より早口になってしまい、予定よりも早く終わってしまったので、2冊用意しておけばよかったなと思いました。新しい年を、みんなが健康で元気に過ごせますように！
		絵	藤本ともひこ		
		文			
		画		6分	
		訳			
2/16	かえるをのんだととさん	作	日野十成(再話) 日本の昔話	福音館書店	2月なので節分にちなみ鬼の出てくる話を選びました。登場人物の会話に繰り返しが多いので、子ども達の興味を引きやすかったようです。物語の世界に入り込んで「えーっ！」「それはないよ！」等の声が上がってました。聴く姿勢がとても良い子ども達なので、もう少し長いお話でも集中して聴くことができたと思います。
		絵	斎藤隆夫		
		文			
		訳		8分	

★☆★令和4年度（2022年） おはなし劇場 記録 ★☆★

2022年度　3年1組のこどもたちが出会ったお話の

日付	書名	作品		出版社/所要時間	感想
6/16	一日だけうさぎ	作		くもん出版	自分と違う立場になって考えることってなんだかいいことなんだなと感じるきっかけになってもらえればいいなと思います。3－1組の児童のみなさんは、姿勢よく静かにお話を聞いてくれたので、声も張り上げる必要もなく助かりました。また物語を知ってる子もいなかったので、興味をもって聞いてもらえたのではないかと思います。
		絵	こばようこ		
		文	原　知子		
		画		5分	
		訳			
7/14	ねずみのとうさんアナトール	作		童話館出版	私が小学校3年生か4年生の時に、使っていたものとは別の教科書に「アナトール工場へ行く」というタイトルで載っていた本です。当時の先生がプリントアウトして配ってくれ、授業で取り扱ったのですが、大好きになり、中学生高校生大学生になっても、ボロボロになったホチキス止めのわら半紙のその本をずっと読んでいました。こどもたちも、勉強とだけ思わず、素敵な出会いを見つけて楽しんでもらいたくて、私の思い出を話しながら読みました。長く、難しい言葉も出てきましたが、静かに聞いてくれ、途中アナトールがチーズにさしたプラカードの”まずい 捨てなさい！”を読んだときは笑いも起こっていました。
		絵	**ポール・ガルドン**		
		文	イブ・タイタス		
		画		10分	
		訳	晴海耕平		
9/22	ぼくのジィちゃん	作	くすのきしげのり	佼成出版社	来月は運動会があるので、運動会にちなんだ絵本を選びました。今年は3年ぶりにリレーが開催予定とのことで、走ることが得意な子も苦手な子も、おジィちゃんが教えてくれた走り方で頑張って欲しいです。走ることに限らず、運動会を楽しみに練習を頑張ろうと思ってもらえたら嬉しいです。
		絵	吉田尚令		
		文			
		画		10分	
		訳			
10/27	とんでもない	作	鈴木のりたけ	アリス館 / 6分	『とんでもない』は人のことがうらやましく思ったり自分に得意なことがないかも、と人と自分を比べる気持ちが出てきたこの年頃に読みたかった本です。どんな人(動物)にもいいところと困ってるところがあってみんなそれぞれでいいんだな～と感じでもらえたら嬉しいです。オオカミは3匹のこぶたの逆バージョンで悪者にならないオオカミもいて面白いなと思い選びました。長いので途中まで読み、本は置いてきました。2冊の本の間、とても集中して聞いてくれました◎
		絵			
	3びきのかわいいオオカミ	文	ユージーン・トリビザス	冨山房 / 10分（途中まで）	
		絵	ヘレン・オクセンバリー		
		訳	こだまともこ		
11/24	にぐるま　ひいて	作		ほるぷ出版	自然や動物と穏やかに暮らす人々の生活を、子どもたちに知って欲しいと思い選本しました。ちょうど10月から始まる物語も今の時期に合っていました。
		絵	バーバラ・クーニー		
		文	ドナルド・ホール		
		画		10分	
		訳	もき　かずこ		
12/22	ルッキオとフリフリ はじめてのクリスマス	作	庄野ナホコ	講談社	ちょうどクリスマス直前だったので、クリスマスに関連したお話にしました。2匹の猫がお仕事をもらいに訪れた大家さんのおうちで見たクリスマスツリーの飾りにあこがれて、真似して作ってみるけど…という内容。オチもついていて楽しい内容だったので選びました。みんな静かに聞いてくれていました！
		絵			
		文			
		画		10分	
		訳			
1/19	トロル坊や	作	トール＝オーゲ・ブリングスヴェール	CCAPPELEN DAMM	北欧の冒険物語。興味を持ち行動する事、勇気をもって友達を守ること。そんな物語が心に残ってくれたいいなと思い選びました。ボリューム感のある本だったので、内容をまとめて読みましたが、少し時間がかかってしまいました。感想を聞く時間もありませんでしたが、授業の中でも、冒険の物語をつくっているそうなので、きっかけを作れたら幸いです。
		絵	インゲルリーセ・カール セン・コングスゴール		
		訳		15分	
2/16	富士山にのぼる	作		教育画劇	今回は真冬の富士山に登る写真家でもあり写真家でもある作者の絵本(写真本)を読みました。誰もがよく知っている富士山。夏と冬の姿の違い、遠くから見てるのと登ってみるの違いなど臨場感あふれる写真から伝わったらいいなと思い選びました。登ったことがある人！と聞いてみたら田中先生だけが元気に手を挙げてくれました笑。最後まで画像を見ながら集中してお話を聞いてくれていました◎
		絵			
		文	石川直樹		
		画	石川直樹	10分	
		訳			

★☆★令和4年度（2022年） おはなし劇場 記録 ★☆★

2022年度　3年2組のこどもたちが出会ったお話のリスト

日付	書名	作品		出版社/所要時間	感想
6/16	菌たろう	作	ホッシー　ナッキー	企業組合 ビュースパイア 5分	子どもたちに、身体は食べたものでできていること、私たちは菌と共生していることを伝えたくて選びました。発酵食品の種類を先生にきかれた子どもたちは「チーズ！味噌！ヨーグルト！納豆！」などと答えており、感心しました。
		絵	ホッシー　ナッキー		
		文			
		画			
		訳			
7/14	王さまライオンのケーキ	作	マシュー・マケリゴット	徳間書店 8分	王さまライオンの食事会に招かれた8匹の動物達とアリ。デザートのケーキを、半分ずつ順に8匹の動物が取った後、最後のアリのところにきたときには、ひとかけのケーキのみ。申し訳なく思ったアリは、「ケーキを1つ焼いてきます」っと、それを聞いた動物たちは倍の倍のケーキを焼いてきますっと…半分の半分、倍の倍がよくわかる算数が楽しくなる絵本です。
		絵	マシュー・マケリゴット		
		文			
		画			
		訳	野口絵美		
9/22	ぞうはわすれないよ	作	アヌシュカ・ラヴィ・シャンカール	すずき出版 8分	迷子になった赤ちゃんぞうをバッファローの群れが仲間に入れてくれました。象がバッファローと暮らすうちに自分が象なのかバッファローなのかわからなくなります。大人になってぞうの群れに遭遇した時にバッファローと共に生きていくことを決めます。自分ならどっちらを選択するか？考えさせられる絵本でした。
		絵	クリスティアーネ・ピーパー		
		文			
		画			
		訳	もりひさし		
10/27	ハロウィーンってなぁに？	作	クレステル・デモワノー	主婦の友社 9分	もうすぐハロウィンなので、何のお祭りなのか、どうして仮装するのか、物語を通して楽しく知れたらいいなと思い選びました。やわらかいタッチのカラフルな絵で、子どもたちはとても静かに集中して最後まで聞いていました。
		絵			
		文			
		画			
		訳	中島さおり		
11/24	ミイラのなぞをとけ おとうとうさぎ！	作	ヨンナ・ビョルンシェーナ	クレヨンハウス 12分	少し時間をオーバーしてしまいました。「人は見た目や建前では判断できない」というメッセージを伝えてくれる、とてもシンプルなサスペンスです。独特な絵が可愛いのですが、スクリーンでは伝わりにくかったかも知れません…
		絵			
		文			
		画			
		訳	ヘレンハルメ美穂		
12/22	ちいさなろば	作	ルース・エインズワース	福音館書店 8分	いつもひとりぼっちのちいさなろば。クリスマスイブにサンタクロースのプレゼント配りを手伝ったろば。ろばの願いは・・・翌朝、ろばにもプレゼントが届く。その中身は？冬休み直前なので、リラックスして聞いてもらえるように、温かく優しい本を選びました。スクリーンに絵本の画（素敵です）をしっかり映して、クリスマスの雰囲気を感じられるようにしました。
		絵			
		文			
		画	酒井信義		
		訳	石井桃子		
1/19	①たなからぼたもち ②うまかたやまんば	作	①くすのきしげのり ②おざわとしお	①廣済堂あかつき 株式会社 ②福音館書店 12分	古くからあることわざに興味がある子どもに「棚からぼたもち」みたいなことは本当にあるのか？とそんな素朴な疑問を持つ主人公が実際にやってみるというお話を読みました。カビたぼたもちが落ちてきたけど、食べられない。やっぱり努力して得たものの方が価値があるって思ってくれたらいいですね。やまんばの話は怖かったかな？
		絵	①澤野秋文		
		画	②赤羽末吉		
		訳			
2/16	すごいね！みんなの通学路	作	ローズマリー・マカーニー	西村書店 本自体3～4分	読み聞かせ当日、安全マップフィールドワークがあったので、世界の子供たちの通学路を紹介するのにちょうど良いと思い選びました。
		絵			
		文			
		画			
		訳	西田圭子		

★☆★令和4年度（2022年） おはなし劇場 記録 ★☆★

2022年度　4年1組のこどもたちが出会ったお話のリスト

日付	書名	作品		出版社/所要時間	感想
6/16	1つぶのおこめ さんすうのむかしばなし	作	デミ	光村教育図書 10分	算数で大きな数を習ったところでしたので、ひとつぶのおこめを毎日、倍の数だけもらっていくと、、、30日目には5億粒になり、合計で10億粒にもなるというお話を選びました。挿絵から視覚でもおこめが増えていくのがよくわかるので、おお！と驚いていたり、笑ったりと、子どもたちの反応も良く、楽しんでもらえたのではないかと思います。
		絵	デミ		
		文			
		画			
		訳	さくまゆみこ		
7/14	みずとはなんじゃ？	作		小峰書店 10分	ちょうど夏でもあり、水に触れる機会も多い時期なので、水の大切さを学んでもらえたらと思って選びました。絵も細かく丁寧に描かれているので、絵だけ見てても楽しい絵本です。
		絵	鈴木まもる		
		文	かこさとし		
		画			
		訳			
9/22	寝るのが楽しくなる睡眠のひみつ	作		創元社 10分	睡眠のひみつについて書かれた本です。校長先生が「みんなはどんな姿勢で寝ていますか？戦士、ヒトデ、丸太、お願いする人、胎児、落ちていく人」と説明しながら、さまざまな寝方を身体を使って説明してくださいました。子どもたちはくすくす笑って楽しそうでした。この本を読むと毎日の睡眠の質が良くなるかも⁉
		絵	ヴィッキー・ウッドゲート		
		文	ヴィッキー・ウッドゲート		
		画			
		訳	山崎正浩		
10/27	手ぶくろを買いに	作	新見南吉	偕成社 10分	国語でごんぎつねを学習したので、同じ作者の本を選びました。少し内容が幼いかなと思いましたが、長めの内容だったせいか、集中して聞いてくれました。10分ぎりぎりの長さだったので、美しい日本語や絵をゆっくり堪能する感じにはならず、早口になってしまったことが反省点です。
		絵	黒井健		
		文			
		画			
		訳			
11/24	王さまライオンのケーキ	作	マシュー・マケリゴット	徳間書店	図工専科の戸邉先生が選書して読んで下さった「王さまライオンのケーキ」は半分の半分、倍の倍といった算数を勉強するのが楽しくなってしまうような本でした。主人公のアリ、そして個性的な動物たち、真面目な王さまライオンが登場します。絵も迫力があり、とても綺麗な絵本でした。
		絵	マシュー・マケリゴット		
		文			
		画			
		訳	野口絵美		
12/22	待機	作	星新一	理論社 11分	星新一さんがショートショートの神様だということを皆に伝えた後、何十年も前に書かれたお話が、いまも全く色褪せず、むしろ様々な地球上の問題を先見した内容となっていることを感じてもらえれば…と思いながら朗読しました。SF的内容は4年生には少しだけ難しかったかもしれませんが、不思議な星ワールドの入口を感じてもらえたように思います。
		絵	和田誠		
		文			
		画			
		訳			
1/19	りょうりをしては いけないなべ	作	シゲタサヤカ		
		絵			
		文			
		画			
		訳			
2/16	なぜ？どうして？ 科学のお話　4年生	作	大山光晴監修	学研教育出版	たくさんの科学にまつわる不思議なお話が載っていますが、その中から4つピックアップしてみました。「鉛筆はなぜ紙に字が書けるのか？」「アイスクリームはなぜ柔らかく固まるのか？」「魚はどうやって眠るの？」などなどなんとなく知ってるようで知らないことを知ることが出来たかなと思います。
		絵	イクタケマコト　他		
		文			
		画			
		訳			

★☆★令和4年度（2022年） おはなし劇場 記録 ★☆★

2022年度　4年2組のこどもたちが出会ったお話のリスト

日付	書名	作品		出版社/所要時間	感想
6/16	100円たんけん	作	中川　ひろたか	くもん出版	電気代や物価が上がっていることを親御さんとのお話やニュースから触れる機会が増えている今、そもそもお金とは？を知る上で、100円で買える物・100円分はこれくらいと物の価値に着目した分かりやすく楽しいお話です。40年以上前、毎月のお小遣いが200円だったこと、それでもたくさんの文具やお菓子が買えたことを話したら、驚きの反応とともに自分の現在のお小遣い事情もたくさんの子が話してくれて楽しい時間でした！
		絵	岡本　よしろう		
		文			
		画		5分	
		訳			
7/14	絵本　窓ぎわのトットちゃん	作		講談社	絵本版より、「窓ぎわのトットちゃん」から「校長先生」を読みました。最初、地図のページを使って自由が丘駅の近くにあった学校に通うことになる女の子の話であることを伝えると、興味を持ってくれた子が多かったように感じました。子供たちは集中して聞いてくれました。冒頭に小学1年で退学になるところで軽い衝撃を受け、新しい学校の入学が決まって安心した様子でした。最後に、続きが気になったら自分で読んでみて欲しいと話しました。絵本版は中学年でも読みやすいと思います。
		絵	いわさきちひろ		
		文	黒柳徹子		
		画		8分	
		訳			
9/22	せかいでさいしょのポテトチップス	作		BL出版	今成先生もお好きなポテトチップス。たぶん子どもたちも大好きなはず。そんなポテトチップスの誕生秘話です。ユーモア好きな料理人とひとりの紳士とのやりとりで完成したポテトチップス。アメリカの実話をもとに描かれたお話です。きっと読み終えた時にはポテトチップスを食べたくなるでしょう。
		絵	フェリシタ・サラ		
		文	アン・ルノー		
		画		10分	
		訳	千葉茂樹		
10/27	ラチとらいおん	作		福音館書店	弱虫の男の子が様々な経験を通し自信をつけていくお話し。弱虫な事で、頼りにされない場面など、子供達は真剣にスライドを見ていました。自信を持って様々な事に挑戦をしてほしいと願いを込め読みました。
		絵			
		文	マレーク・ベロニカ		
		画		6分	
		訳	とくながやすとも		
11/24	寝るのが楽しくなる睡眠のひみつ	作		創元社	渡部校長先生が「睡眠」についての本を読んでくださいました。子どものうちは1日の40%を寝て過ごしていて、その眠りにはステージがあり、ステージ1ではいつでも起きられる状態、ステージ2では心拍も呼吸も減って筋肉がリラックスした状態、ステージ3では深い眠りの状態。そんな眠りについての面白いお話が書いてあり、寝るのが本当に楽しくなりそうな本でした。
		絵	ヴィッキー・ウッドゲート		
		文	ヴィッキー・ウッドゲート		
		画			
		訳	山崎正浩		
12/22	みずとはなんじゃ	作	かこさとし	小峰書店	生きていく為に必要不可欠なお水。最近、理科で水の性質、水道キャラバンでは、水や環境についてお勉強しているからか、子ども達も真剣に聞いてくれました。改めて、水の大切さ、自分たちで守っていかなければいけない物だと考えてくれたのではないでしょうか。
		絵	鈴木まもる		
		文			
		画		10分	
		訳			
1/19	オニのサラリーマン	作	富安陽子		
		絵	大島妙子		
		文			
		画			
		訳			
2/16	ベッドのしたになにがいる？	作		童話舘	ベッドの下や、中、部屋の数々から、不思議な事がおこり、解決していく物語。ストーリーをしっかり、子ども達は、追ってみてくれていました。四年生最後の読み聞かせ、キラキラした子ども達を見れてとても嬉しかったです。
		絵			
		文	ジェームズ　スティーブソン		
		画		10分	
		訳	つばきはらななこ		

★☆★令和4年度（2022年） おはなし劇場 記録 ★☆★

2022年度　5年1組のこどもたちが出会ったお話のリスト

日付	書名	作品		出版社/所要時間	感想
6/16	「おーいでてこーい」 ねらわれた星 星新一ショート ショートセレクション①	作	星 新一	理論社	生産と廃棄について、考える機会をもって欲しかったのでこの作品を選びました。
		絵	和田 誠		
		文			
		画		8分	
		訳			
7/14	せかいのはてってどこですか？	作	アルビン・トゥレッセルト	童話館出版	自分の世界は自分で選べるけれど、世界を知るともっと幸せになる道が選べるよ、というヒントになれば・・・と思ってこの本にしました。
		絵	ロジャー・デュボアザン		
		文			
		画		10分	
		訳	三木 卓		
9/22	すごいね！みんなの通学路	作	ローズマリー・マカニー	西村書店	世界のさまざまな登校風景の印象的な(衝撃的な)写真の絵本です。文字はとても少ないのですが、その分、写真を楽しめるかと思いました。命懸けに近い登校風景を見て、そうまでして学校に通うのはなぜかな？と考えるきっかけなるといいなと思いました。
		絵			
		文			
		画		10分(本は5分くらい)	
		訳	西田圭子		
10/27	おそらにはてはあるの？	作		玉川大学出版部	「どうして夜になると空は暗くなるの？」「空はどこで終わるの？」子どもが小さい時に質問されて、この絵本に助けてもらった思い出があります。5年生には物足りなかったかな…と少し反省点もありますが、空や星について考える時間ができたら嬉しいです。
		絵	井沢洋二		
		文	佐治晴夫		
		画		5分	
		訳			
11/24	らくごえほん てんしき	作	川端誠	角川書店	子供は知らない事ばかりで当然です。しかし、大人になると知らない事が恥ずかしい事になります。その為、知ったかぶりをして適当な事を言って誤魔化して更に恥ずかしい思いをしたり…。今のうちに知らない事をどんどん聞いて、覚えてほしいと思い選びました。テンポの良い文でどんどん引き込まれました！落語絵本で、最後のオチも笑ってくれました！
		絵	川端誠		
		文			
		画		10分	
		訳			
12/22	足で歩いた頃のこと	作		偕成社	中学校教諭としてクラブ活動指導中に頸髄を損傷し首から下の自由を失ってしまったのち、口にくわえた絵筆で文や絵を描きはじめた星野さんの詩画集のひとつ。 やわらかく温かい詩画の中にある静かな優しいメッセージが、何かしら子ども達の心に響いてくれたらいいなと思ってます。じっとスクリーンを見つめ耳を傾けてくれました。
		絵	星野富弘		
		文	星野富弘		
		画		10分	
		訳			
1/19	LOVE &FREE ～世界の路上に 落ちていた言葉～	作	高橋 歩	サンクチュアリ出版	もうすぐ6年生になる子供たちの心に届く文章はどんなものが良いのか悩みましたが、筆者がパワフルに表現する文章により、地球の広大さと人々の多様性が少しでも伝わると思い、この本の文章を抜粋して読み聞かせました。途中、笑いもとれて私も読んでいてとても楽しい気持ちになりました。最後にもらった拍手がとても嬉しかったです。
		絵			
		文			
		画		10分	
		訳			
2/16	それしかないわけないでしょう	作	ヨシタケシンスケ	白泉社	暗い話題が多い現在ですが、朝のひと時、パッと明るい未来を想像して楽しい気持ちになれるといいなと思い選びました。今の自分を大切に、マイナスをプラスに変えていく発想の転換をしてもらえれるとうれしいなあと思います。
		絵			
		文			
		画		5分	
		訳			

★☆★令和4年度（2022年） おはなし劇場 記録 ★☆★

2022年度　5年2組のこどもたちが出会ったお話のリスト

日付	書名	作品		出版社/所要時間	感想
6/16	しあわせなときの地図	作	フラン・ヌニョ	ほるぷ出版	今現実に起こっている戦争について、戦地の子供たちの状況に心を向けてくれたら良いなと思い、五年生には少し簡単な本かなと思いましたが紹介してみました。
		絵	ズザンナ・セレイ		
		文			
		画		5分	
		訳	宇野和美		
7/14	三びきのごきげんなライオン	作			五年生への読み聞かせに、長さや内容に迷い、家族の、親が思う子への想い、子が見つけていく自分自身の将来への奮闘、、少し長い文章でしたが、最後まで集中し、子供達が絵本に見入ってくれた姿がとても印象的でした。
		絵	ロジャー　デュボアザン		
		文	ルイーズ　ファティオ		
		画		10	
		訳	はるみこうへい		
9/22	なんだろう　なんだろう	作	ヨシタケシンスケ	光村図書	小学生、中学生、高校生、様々な年代の「なんだろう」。疑問、不満を持ちながら考える登場人物に共感を持って聞いてもらえるかなと思い、この本を選びました。10分に収まらなかったので抜粋して読みました。
		絵			
		文			
		画		10分	
		訳			
10/27	すごいね！みんなの通学路	作	ローズマリー・マカニー	西村書店	世界の子供達の通学路を写真を通して紹介。日本との差に衝撃を受ける内容でした。自分達が毎日当たり前に安全に通学している事に気付くきっかけにもなるようなお話しでした。お話しは短めなのでゆっくり読みました。1組でも先月読まれた本です。
		絵			
		文			
		画		5分	
		訳	西田圭子		
11/24	フィボナッチ ~自然の中にかくれた数を見つけた人~	作	ジョセフ・ダグニーズ	さ・え・ら書房	フィボナッチ数列で有名なイタリアの数学者レオナルド・フィボナッチ(1170-1240頃)の生涯と、フィボナッチ数列を解説した絵本を選びました。数学が自然の中でも発見できることを伝えたく選びました。 花びらの数、りんごの種の数などフィボナッチ数に当てはまり、またパイナップルやひまわり、人間の耳にもフィボナッチ螺旋が見て取れること。アップルのロゴデザインにも使われているフィボナッチの黄金比を紹介しました。 時間切れになってしまい、ちゃんと伝わらなかった感じがします。申し訳なかったです。
		絵	ジョン・オブライエン		
		文			
		画		10分	
		訳	渋谷弘子		
12/22	急行「北極号」	作		あすなろ書房	12月なのでクリスマスのお話を選びました。そろそろ存在に疑問を持ち出している頃なので信じている人だけには鈴の音が聞こえると言う心がまだ残っていてほしいです。
		絵	C·V·オールズバーグ		
		文	C·V·オールズバーグ		
		画		10分	
		訳	村上春樹		
1/19	それしかないわけないでしょう	作	ヨシタケシンスケ	白泉社	暗い話題が多い現在ですが、朝のひと時、パッと明るい未来を想像して楽しい気持ちになれるといいなと思い選びました。今の自分を大切に、マイナスをプラスに変えていく発想の転換をしてもらえれるとうれしいなあと思います。
		絵			
		文			
		画		6分	
		訳			
2/16	講談えほん 眠り猫	作		福音館書店	講談えほんなので、語り口が軽妙でリズムに乗って読めました。講談は馴染みがない子が多いようでしたが、何となく知っているお話でしっかり聞いてくれました。
		絵	ささめや ゆき		
		文	宝井 琴調		
		画		7分	
		訳			

★☆★令和4年度（2022年） おはなし劇場 記録 ★☆★

2022年度　6年1組のこどもたちが出会ったお話のリスト

日付	書名	作品		出版社/所要時間	感想
6/16	12の贈り物	作	シャーリーン・コスタンゾ	株式会社 ポプラ社 9分	あなたが生まれたときに、12の贈り物がさずけられました。あなたのかけがえのない命のために。あなたの素晴らしい人生のために。　小学校最後の学年、6年生。卒業し、中学、高校…とまた新しい世界が始まります。なりたいもの、やりたい事…何でも挑戦出来る力、どんな可能性も皆んな持っている！と 卒業学年の6年生へエールを送る気持ちで、選びました。
		絵	黒井　健		
		文			
		画			
		訳	黒井　健		
7/14	お化けの猛暑日	作	川端　誠	ビーエル出版 8分	最近の夏は、災害レベルの猛暑と言われていますが、自然と敵対するのではなく共存し、工夫しながら暑さをしのぐ、日本の暮らしを描いた絵本です。今回はなんと吉田副校長のお話劇場。かつての教え子たちの成長に目を細める吉田先生。先生の声にしっかり耳を傾けている子供たち。見ているほうがジーンとする光景でした。（見学者感想）
		絵			
		文			
		画			
		訳			
9/22	解剖断面図鑑	作		偕成社 8分	街や空港、宇宙船、人体など、様々なものを断面図で紹介する絵本図鑑です。緻密な絵を目で追えるように解説しながら読みました。最後に、小学校建築のモデルとして有名な宮前小学校の断面図と、設計当初の工夫を紹介しました。宮前小の工夫がわかり、残り少ない小学校生活が楽しくなるという感想がありました。
		絵	スティーブン・ビースティー		
		文	リチャード・プラット		
		画			
		訳			
10/27	魔女がいっぱい	作	ロアルド　ダール	評論社 13分	ハロウィン時期なので　魔女のお話しにしました。ほんものの魔女は普通の女の人だということ、魔女のせいで消えた5人の子どもの話をしました。
		絵			
		文			
		画			
		訳			
11/24	バナナの魅力を 100文字で伝えてください	作	柿内尚文	かんき出版 10分	日常生活や学校生活で必要となる伝える技術。今まで「伝える」ことばかり考えていたことに気付かされました。話し相手に「伝わる」とは相手主体であり、「伝える」は自分主体であるということ。「伝わる」には36の法則があるようです。親子関係、友だち関係、子どもたちと先生の会話のなかに伝えたいことが「伝わる」ことで心地よい毎日が送れると幸せだなと思いました。ゆっくり読んでみたいと思います。
		絵			
		文			
		画			
		訳			
12/22	へいわとせんそう	作		ブロンズ新社 10分	平和と戦争を白黒だけのイラストで表現されていて、心と頭の中に訴えてくるものがある。左右のページに平和と戦争が対比して描かれているが、全く違う状況に考えさせられる。誰もが平和を選びたいはずなのだが、人々がそうは出来ない現実に心が痛い。
		絵	Noritake		
		文	たにかわしゅんたろう		
		画			
		訳			
1/19	①ねえ、ほんとにたすけてくれる？ ②ぶす（狂言絵本）	絵	①平田景	①アリス館 ②講談社の創作絵本	
			②ささめやゆき		
		文	①平田昌広		
			②もとしたいづみ		
		訳			
2/16	①なぜどうして　科学のお話 ②たくさんのドア	作	① Gakken	① Gakken ②主婦の友社	①なぜ　どうしてと思う事は科学で説明できる事を知ってもらいたいです　② 皆さんにはたくさんの可能性があり、そして守られていることをメッセージとして送りたいと思い選びました
			②アリスン　マギー		
		絵	② ユ　テウン		
		画			
		訳	② なかがわちひろ		

★☆★令和4年度（2022年） おはなし劇場 記録 ★☆★

2022年度　6年2組のこどもたちが出会ったお話のリスト

日付	書名	作品		出版社/所要時間	感想
6/16	世界の住まい大図鑑	作	野外民族博物館 リトルワールド監修	PHP	国や気候、文化によって色々な工夫がなされた家を紹介した世界の家の図鑑です。色々な国から抜粋して読み聞かせをしました。高学年になると世界の地理や気候について学ぶので、身近に感じてもらえればと思い選びました。
		文			
		画		10分	
		訳			
7/14	①ねえ、ほんとにたすけてくれる？ ②ぶす	作	①平田昌広 ②もとしたいづみ	①アリス館 ②講談社	今日はスペシャルゲストの山内先生のお話劇場。先生のよく通る声の読み聞かせにみんなとっても集中して聞いていました。時々クスクスっと笑い声も。6年生だって絵本の読み聞かせ楽しんでいるんだなと思いました。（見学者感想）
		絵	①平田景 ②ささめやゆき		
		訳		10分	
9/22	二番目の悪者	作	林 木林	小さい書房	「考えない、行動しない、という罪」一噂話を鵜呑みにして広げることの恐ろしさを描いた絵本。やや長い（64ページ）ので駆け足で読みましたが、子供達は真剣に聞いてくれました。実際の人間関係のみならずSNS等で触れる情報の取捨選択や発信などこれからより複雑になる時代に生きる子供達（中高学年～）にピッタリの作品に思います。
		絵	庄野 ナホコ		
		文			
		画		10分	
		訳			
10/27	ねらわれた星／デラックスな金庫	作	星新一	理論社	星新一さんの経歴やエピソードも含めこどもたちに紹介しました。いまから何十年も前に書かれたお話なのに全く色褪せないことに子ども達もびっくりしているようでした。ウィットと示唆にとんだお話は高学年ならではの楽しみではないかと思いました。
		絵	和田誠		
		文			
		画		10分	
		訳			
11/24	もりのかくれんぼう 特大版	作	末吉暁子	偕成社	ワールドカップドイツ戦の翌日で、通常でも高学年なり、朝がとても静かな反応なので、考えずに、ながめられたら。と特大絵本で、動物達を絵の中から純粋に探す感じで、読ませてもらいました。まだまだ、綺麗な絵に吸い込まれてくれて、可愛い6年生の一コマでした。
		絵	林　明子		
		文			
		画		10分	
		訳			
12/22	12の贈り物	作	シャーリーン・コスタンゾ	株式会社 ポプラ社	あなたが生まれたときに、12の贈り物がさずけられました。あなたのかけがえのない命のために。あなたの素晴らしい人生のために。　小学校最後の学年、6年生。卒業し、中学、高校…とまた新しい世界が始まります。なりたいもの、やりたい事…何でも挑戦出来る力、どんな可能性も皆んな持っている！と　卒業学年の6年生へエールを送る気持ちで、選びました。
		絵	黒井　健		
		文			
		画		9分	
		訳	黒井　健		
1/19	①最初の質問 ②Life（ライフ）	作	①長田弘 ②くすのきしげのり	①講談社 ②瑞雲舎	
		絵	①いせひでこ ②松本春野		
		訳			
2/16	アルジャーノンに花束を	作	ダニエル・キイス		卒業へのお祝いとして本のタイトルに花束という言葉があったので選びました。多様性を重んじなければならないことなどを訴えるためにも内容を抜粋して読み、続きは子供たちにしっかり読んでもらいたいと伝えました。
		絵			
		文			
		画		15分	
		訳			